

財政規則審査会議 事業計画

財政規則審査会議 議長 大高 幸也

在籍年数の低下、専門知識の不足による公益法人としての責任の不覚や、情報社会の発展によるコンプライアンスリスクが顕在化している今、地域における組織としての存在意義や公益法人の会員である責任の自覚がますます重要となっています。我々は関係省庁から認められた唯一無二の青年組織だからこそ、強固な財政基盤の持続的な管理体制と確立された規則の遵守によるプレゼンスのある健全で効率的な組織運営を行う必要があります。

まずは、限られた事業予算を効果的に活用した運動を展開していくために、各事業の予算及び決算を費用対効果と相対支出の観点から公明正大な財政審査を行うことで、各事業における適切な予算の管理体制が確立されます。そして、我々の先達たちがこれまで築きあげてきたLOMのブランドを保持していくために、法令や規則だけでなく社会的なルールやモラルなどの社会規範をもとに、我々だけではなく他者の知的財産やコーポレートアイデンティティを守る徹底したコンプライアンス審査を行うことで、自他の利益や権利を重んじる健全で効率的な組織運営が構築されます。さらに、統制が取れた存在価値のある組織となるために、規則を組織全体で共有し、コンプライアンスに対しての我々の認識を統一することで、確立された規則のもとにガバナンスが強化されます。また、これからも地域から信頼され続けられる組織として永続的に運動を展開していくために、関係省庁に認められた我々が担っている役目や義務を学び、一人ひとりが公益法人として課せられた責任を自覚することで、自分自身の役割や活動に誇りをもった個の集合体が構築されます。

健全な財政基盤と高いブランドをもとに組織価値が確立され、責任と誇りをもった我々の公益性と共益性を追い求めた信頼性のある事業が地域を巻き込みながら伝播していき、最大化された効果で永続的なインパクトを与える運動を地域に展開できる組織となります。

<事業計画>

1. 財政審査会議での公明正大な審査
2. コンプライアンス審査会議での規則を重んじた審査
3. 人的資本を高めるコンプライアンス認識統一事業の開催
4. 誇りをもてる公益法人自覚事業の開催